

器の大きい人は、
二、居ない人を褒め
るの小さい人は、
一、居ない人の口に寄ろう

器の大きい人は、
自分の功業（自己満足）
器の小さい人は、
他人に謙遜を戒めて居らう

S-mile 通信



令和6年1月15日発行 第71号

発行/理事長室 浜松市中央区大山町 2958 番地の 1

職員の皆さん あけましておめでとうございます。

新しい年を迎え、一人一人今年こそさらに素晴らしい一年にしようと思ちも新たにスタートされたことと思います。どうぞ今の気持ちを大事にさせていただきたいと思ひます。

慶成会では今年30周年を迎えます。これは利用者さん、ご家族また地域の皆様方はじめここで働く職員の皆様方で作り上げた歴史でもあります。今年を一つの節目と捉えてこれから始まる厳しい時代の変化に対応していかなくてはなりません。常に働いてみたいと思ひいただける職場づくりであり、利用したいと思ひいただけるような質の良いサービスの提供です。この積み重ねが歴史であり慶成会の財産ともなります。

私たちに求められるものは、やはりロマン(志)とビジョンと思ひます。常に現状を反省し、改善・改革をしながら成長を続けることが大切ではないでしょうか。

職員同士仲間としての思いやりや、利用者さんからの笑顔に感動し、地域の皆様方の期待に応えられるような一年としていきたいと思ひます。

理事長 小澤 優

新年あけましておめでとうございます。

年始より北陸地方を襲った地震により被害を被った皆様方並びに関係者の皆様方お見舞いを申し上げます。

さて、慶成会も創立30周年という大きな節目を迎えようとしております。

今まで介護福祉事業に取り組んで参りましたが、時代や地域環境・価値観の変化への対応が求められる時代に入ってきています。また、今まで大切にされていた“土地・お金・権力”から“情報・生きがい・自由”を求める時代に入ってきていることは皆さんも実感があると思ひます。今後、「自分がどの様に思われている。」よりも「自分はこの様に考えている。」という情報の発信を大切にしてください。自分を表現するコミュニケーション力や発信力が大切になってきます。苦手な人は皆様方人生の自由を手に入れるために「変えることの選択」をしてみてください。

自分を OUTPUT することで周囲に理解されてきます。いい例として「出川ズイングリッシュ」です。海外で、あの一生涯懸命さとしてたためな英語でも誰をも巻き込む力、困難があってもゴールにたどり着くことができるのは莫大な OUTPUT 能力です。何を言いたい言葉にし、何に取り組むか言葉にしてみる。小さな一歩が幸せへ近づくことも知れませんが。皆さん、今年もよろしくお願いいたします。

経営管理部長 堀川典秀

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスが5類となり世の中は規制緩和ムードがある中、私達の仕事はまだまだ気をゆるめる事ができない状況となっております。職員一人一人が危機感・自覚を持って日々の業務を行って頂けるからこそご利用者・ご家族の安心安全な生活が確保できている事に感謝を申し上げます。

また、法人全体で取り組んでいる科学的介護（自立支援介護）の実践をさらにすすめる事で、いつまでも元気で自分らしい生活ができるよう、健康寿命を延ばせるよう支援を行っていききたいと思ひます。ご利用者・ご家族・地域の方の笑顔が増える事で、職員が働きがいや達成感を共に味わい、チーム一丸となり働きやすい職場環境作りを作っていきたいと思ひます。今年もよろしくお願いいたします。

統括部長 小澤吉章

令和5年度静岡県優良介護事業所表彰式

12月19日(火) 静岡市内のしずぎんホールにおいて、令和5年度静岡県優良介護事業所表彰式が行われ、グリー

ンヒルズ東山が「職場環境改善部門」で表彰されました。当日は、受賞した県内5か所の介護事業所から「職場環境改善部門」と「サービスの質向上部門」それぞれの事例発表が行われ、グリーンヒルズ東山からは内山主任と村上主任が5S活動やサンクスカードの取り組みについて発表されました。グリーンヒルズ東山は、令和3年度も「サービスの質向上部門」で自立支援介護・重度化防止の発表を行い、同表彰式で表彰されており今回2回目となります。その時いただいた報奨金で、職員食堂へコーヒーマシンを寄贈しました。

表彰を通して、慶成会内部の取り組みを地域の皆様へ発信することも法人が目指す地域貢献活動の一つです。介護保険事業所であれば応募資格の対象となるため、他の事業所も表彰にチャレンジしてみませんか!!



技能実習生の介護導入講習

慶成会は長年、就職や実習でオイスカ高校と深いお付き合いがあります。その運営母体である学校法人中野学園が、インターナショナルの理念のもとに技能実習生の管理団体である「大和教育財団」を創設し、海外から実習生を受け入れています。この度、介護の分野においてマンマーから3名の実習生を迎え入れ、慶成会に介護導入講習の依頼がありました。

元々慶成会では、他管理団体から6名の技能実習生を職員として受け入れてきましたが、外部からの技能実習生対象の講習は今回初めてとなります。

男女3名の実習生は1月下旬までの7日間、研修センターにて介護の理念や考え方、介護技術等を学んでいます。日本で働くには、介護実習だけでなく日本語能力も求められるため勉強付けの毎日ですが、各講習を修了した後は他法人の介護施設へ就職する予定です。

慣れない環境は大変ですが、将来を担う介護士になっていただくと大変嬉しいです。



防災について考えましょう！

年明け1月1日の16時頃、石川県能登地方で震度7の地震が発生し、1週間で100名以上の死傷者が出ています。皆さんもご存じの通り日本は地震列島であり、ここ30年の間に「阪神淡路大震災（1995）震度7」、「新潟県中越地震（2004）震度7」、「東日本大震災（2011）震度7」、「熊本地震（2016）震度7」など東西で大規模な地震が発生しており、今回の能登半島は過去2007年にも震度6の地震が発生しています。

静岡県は、高い確率で南海トラフ巨大地震が発生すると言われており防災への意識が高まっていますが、このような大きな地震を目にすると不安が増大します。

慶成会では職員皆さんの安否を確認するアンピック導入以外にも、BCP（事業継続計画）の策定を行っていること、いざという時の緊急応援体制として災害派遣福祉チームDWATの登録など存在は皆さんご存じでしょうか？



国内では、社会的弱者である高齢者や子供たちを守るため様々な福祉支援体制が構築されていますが、実際どの程度対応できるかはその時になってみないと分かりません。健常者のように早い行動ができず情報を得るのに時間がかかるお年寄りや児童は、介護職や保育士の援助無しでは命を守ることは困難です。

慶成会は3月までに、全職員を対象としたBCPの動画視聴研修を実施します。改めて防災への意識を高めると同時に備えについて確認し、自分自身の身を守り適切な行動が取れるよう研修から学び考えて参りましょう。

◆突撃！職員インタビュー◆ 石塚磨貴さん 【デイサービスセンター野の花】



浜松で生まれ、理学療法士（PT）の資格を取得するため愛知県の学校に進学しました。結婚を機に浜松へ戻り、一時リハビリ職として療養型の病院で働いていましたが、患者さんが在宅へ復帰するお手伝いがしたいと考え、慶成会へパートタイムで就職しました。

最初は、旧野の花ショートの担当で入社し、その後グリーンヒルズ東山へ異動しました。楽しかったレクリエーション活動や仲間との思い出がある一方、機能訓練についてご家族から辛い言葉を貰ったことなど、それぞれの施設で様々な経験をしたことで自分自身成長することができたと感じています。

子供がまだ小さかった頃、突然の体調不良や私用で仕事を休まなくてはいけないことが多かったのですが、周囲の理解もあり家庭も仕事も両立することができました。子供の成長と共にフルタイム勤務ができるようになり、昨年正職へ登用されました。とても働きやすい環境に恵まれ感謝しています。

昨年12月には3か所目となるデイサービスセンター野の花へ異動となりました。最初の職場と同じ建物であり、当時のご利用者も何人かご健在で嬉しく思いました。

また、初めての送迎業務にドキドキすることも多いですが、直接ご利用者の自宅へ伺うことで生活の様子や周辺環境も把握でき、リハビリ職として大切な情報を得ることができています。今後は、前任のリハビリ職員が力を入れていたロコモトレーニングについて多くのことを学び、仕事に取り入れていきたいと考えています。

